



楓の森アップデート2



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第6号
令和6年7月5日(金)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」

○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

人権月間の取組 縦割り人権集会①

～ 小1から小4の縦割り～

人権月間の取組として、「縦割り人権集会」を7月3日、4日に行いました。

小1～小4までのグループと小5～中3までのグループにわかれて行います。

今週は、小1～小4までの集会を行いました。以下にその内容について述べます。



1年生は、教材「かお」の学習をしました。みんなが楽しく過ごすためには、「相手の顔をよく見て、どんな気持ちなのかを考えること」の大切さを発表することができました。友達のことを気にかけて、「どうしたの？だいじょうぶ？」と声をかけ、ひとりぼっちにしないことなど、思いやりのある行動について学ぶことができましたようです。

2年生は、「ぼくのランドセル」という教材を学習しました。登場人物の「ゆうや」さんは、「ひろし」さんに対して、無視したり、命令したりします。しかし、「ひろし」さんは、いやなことをされても、言い返すことができません。そこで、イライラして、自分より弱い「ともお」さんにいじわるをしました。この教材を学習して、自分も似たようなことがあると、「**自分と重ねて発表する**」ことができました。

○本当の友達だったら、ゆうやさんのためにも注意することが大切です。

○でも注意できないときがあります。そのような時は、いじめられている人に「だいじょうぶ？」と声をかけたり、そのことを先生にいたりしてとめてもらいます。

などと発表し、「だまっていなくて行動にうつすこと」が大切であると考えることができました。

3年生は、「ぼくさびしかったんだ」という教材を学習しました。登場人物の「さとし」さんは、みんなからこわい人と決めつけられていて、いつも一人で帰っていました。その仕返しに暴力をふるい、先生から注意を受けていました。

そこで、先生にすすめられて、自分の気持ちを日記に書いてみんなに話しました。みんなは真剣に話を聞いてくれて、お返しをしてくれました。お互いの気持ちが伝わって、仲直りをするこ

できたというお話でした。子どもたちは、このお話を通して「自分の気持ちを伝えることの大切さ」を学習しました。クラスの中で起こった出来事は、みんなで考え、みんなが楽しく過ごすことができるクラスにしたいと発表することができました。

4年生は、「わたし」という教材を学習しました。登場人物の「わたし」は、学校にいきたくとも、校門を入ると、友達の日や先生の日が気になって、前に進めなくなってしまいます。また、みんなが遊びにさそってくれるのはうれしいのに、体が動きません。しかし、自分でもなぜそのようなになるのか、わからないというのが「わたし」の悩みです。

4年生になると、さらに心が成長し、友達関係で悩むことがあります。自分の気持ちを素直にあらわすことができず、相手はわたしのことをどう思っているのだろうと……いろいろと考えてしまうのです。そのようなことを自分の経験と重ねて発表することができました。

○お互いを知ろうとして、しっかり受け止めることが大切である。

○いろいろなことを話して、お互いの思いを知ること
でわかり合えるなかまになりたい。など…

無視するのではなく、友達のことを気にかけてながらなかまになっていきたいという思いが伝わった集会になりました。(来週は小学5年～中学3年の人権集会です。)

以下は、小1～小4までの各クラスで作成した人権スローガンです。

1年生から4年生までの各クラスの人権スローガン

- 1-1 げんきにあいさつ なかよくあそんで みんなえがお
- 1-2 ともだちのかおをよくみて、きもちをかんがえよう
- 1-3 どうしたの？ときいて いっしょにかんがえよう
- 1-4 ともだちのかおをよくみて、きもちをかんがえ、ふわふわこぼをかけよう
- 2-1 あなたはたいせつな人 わたしもたいせつな人 みんなでみんなをたいせつにしよう
- 2-2 自分の心もあい手の心も大せつにできる2の2
- 2-3 人によって たいどをかえす いやなことうれしいことも ことばでつたえあおう!
- 2-4 人によって たいどをかえない もやもやしたら、りゆうを聞こう
- 3-1 みんなが安心してすごせるクラス
- 3-2 こせいをみとめ合い、いやなことがあれば言葉でつたえる
- 3-3 すなおにつたえよう 言葉でつたえよう
- 3-4 気持ちと言葉をつなげて心をついに!!
- 4-1 きりかえる心を持ち、相手の気持ちを考えて行動する四年一組
- 4-2 得意 不得意をわかり合い、やさしい言葉がけで協力できるクラス
- 4-3 相手をせめるのではなく、おたがいをわかりあい、みとめあい、たすけあおう
- 4-4 だれに対してもたいどがえをしない!しっかり考えふわふわ言葉